

岩手県防災服の製作について

災害対策本部員等が着用している防災服について、経年劣化や汚損が著しい状況になっていることから、新たな仕様により防災服を製作した。

製作にあたっては、より機能的なデザインにするとともに、県内アパレル産業のPRにもつなげていくため、県内アパレル関係者と連携して取組んだもの。

記

1 製作アイテム

岩手県防災服（ジャケット、パンツ、帽子）

2 デザイン等

(1) コンセプト

- ・ 防災服としての機能性を確保するとともに視認性にも配慮したデザインとしたこと。
- ・ 岩手の広大な大地を連想させ、明るい印象と視認性が高い「ベージュゴールド」をメインカラーとし、豊かな自然を連想させる「モスグリーン」をアクセントカラーとしたこと。

(2) 製作方法

- ・ デザイン製作は岩手県と連携協定を締結している学校法人文化学園文化ファッション大学院大学の監修のもと、デザイナーの藤川郁磨氏（同大学院OB）が担当。
- ・ 防災服製作は岩手町に縫製工場を有する株式会社飯島産業が担当。

【完成写真】

